

# つつじが丘便り



文責 野上泰宏

No. 7

ふるさとは、「ある」ものではなく、「つくる」もの

帯広市立つつじが丘小学校長 野上 泰宏

11日に学芸会がありました。多くの保護者の皆さん、地域の皆さんにご来校いただきました。お忙しい中にもかかわらず、ありがとうございました。皆様方の大きな拍手が、子ども達の自信になりました。「自分の頑張りが認められている」「自分は期待されている」という思いを子供たちが持つことこそ、自己有用感や自己肯定感につながると感じました。



「うさぎ追いし かの山 こぶな釣りし かの川・・・」皆さんご存知の「ふるさと」の歌です。ふるさとの情景がつづられています。つつじの子どもたちにとって、ふるさとの風景とは、どんなものでしょうか。宅地造成がはじまり、人口が急激に増え、開西小学校から分離して20年。歌にあるふるさとの自然の景色と、子ども達のイメージは大きく異なるのではないのでしょうか。

コミュニティ・スクールの第一回会議を10月8日に開催しました。「コミュニティ・スクールに期待すること」と題し、委員さんでワークショップをしました。その中で、「地域と一体となった取組」「ふるさとや郷土に愛着を持つ」など、ふるさと教育・地域学習が話題になりました。

私は、ふるさとは「ある」ものではなく、「つくる」ものだと思っています。「生まれた場所」は生誕地であるけれども、「その場所にある」ことが「ふるさと」ではない。そこに「思いや願い」があってこそ、「ふるさと」になる。それが、「ふるさとをつくる」という意味です。

「いかにいます父母」という思い。「志をはたしていつの日にか帰らん」という願い。その思いや願いを子ども達に育むことが、「ふるさと教育」です。

学校は、地域の体験を「学び」に変え、社会に出た時に役に立つ力をつける。社会で役に立つ力をつけるためには、普段の勉強が大切なことに気づかせる。そのために、多くの地域の大人を子ども達と出会わせたい。様々な考えや思いを持つ大人とかかわり、子ども達は考え判断することを学ぶ。「生きる力は、せまい所では育たない」という神髄が、ここに 있습니다。

今後も「地域とともにある学校」の実現に向け、つつじっ子の育みに一層取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いたします。



最高22℃ / 最低6℃

十勝毎日新聞創刊100年

## 市内でもCS運用開始 つつじが丘小で第1回学校運営協議会

2019/10/09 9:51



# つつじ小トピックス

(9月～10月)

9月14日、「わくわくサタデー」のつつじっ子もちつきが行われました。地域のボランティアさんの協力のもと、たくさんの子供達が集まりました。昔は、各家庭で餅をつくのが当たり前だったその名残、ベテランの方々の上手さに、感心しました。時代が変わるからこそ、こういう伝統を子供達に味わわせることの大切さを感じました。



9月18日、後期児童会役員選挙&立ち合い演説会が行われました。役員定数5人のところ、13人が立候補。特に4年書記には、定数1人に対し5人が立候補にする激戦でした。投票の結果、次のように役員が決定しました。



会長 6年 松井陽汰くん  
副会長6年 榊原伊織くん 5年 芦川さくらさん  
書記 6年 大岡夢奈さん 5年 東原すずさん 4年 伊藤煌くん



9月19日に、全校参観日があり公開授業後、恒例の親子ガラス磨きを行いました。昨年は周年式典前、今年は公開授業研究会前に実施することができ、大変ありがたいです。校内が明るくなりました。



あれだけ警戒のアナウンスがされていたにもかかわらず、台風19号は全国的に大きな被害を出しました。幸い北海道は被害や影響はありませんでしたが(私は北見ハーフマラソン大会に申し込んでいたため、大会中止の影響を受けました)、自然の猛威をあらためて感じたところです。

どうかこの機会に、ご家庭でお子様も交えて防災対策、危機対応を話し合ってくださいと思います。学校も避難所になることを想定し、地域における防災拠点としての役割をコミュニティ・スクールの主要な議題の一つにしたいと考えています。防災は、想定が間違いだったと感じることがスタートだと思っています。



台風が去ったあと、急に気温が下がってきました。そして、例年になく早くもインフルエンザが流行し、学級閉鎖が十勝帯広の小学校で起きています。保健だよりなどを参考にいただき、くれぐれもお子様の体調管理にご留意ください。



今年も、学校支援ボランティアさんのご支援により、器楽のパート練習のお手伝いや劇の衣装作成をしていただきました。本当にありがとうございます。素敵なステージの裏で、多くのボランティアさんが活動していることを知っていただきたいと思います。

器楽指導については、楽譜（ドレミ）の読み方など、限られた練習時間では定着するまで教えることが難しい、また今流行の音楽はリズムが取りにくいなど、担任が大変難儀をしています。学年で複数クラスあればまだいいのですが、1クラスなので担任一人ですべてをこなさなくてはなりません。

劇については、声がしっかり出せるように練習をしていますが、本番当日は緊張や体調もあり、セリフがしっかり届いているか心配でした。そのような中、登場人物の設定が一目でわかる衣装は、見栄えがするし、ストーリーのわかりやすさを生んでいました。

次年度も、多くの方のご協力をよろしくお願いいたします。



## 5年生



# 今年も「スマホ教室」を実施、5・6年生を対象。

この話は帯広市内ではありませんが、最近私が耳にしたネットトラブルです。

★☆☆友達が遊びに来たので、お母さんからスマホを借りて、ネットゲームをして遊ぶことにしたそうです。その家庭では、『ネットゲームでお金を使っちゃいけない』というルールがあったのですが、友達から「有料アイテムを入手しないと先に進めないよ。やり方を教えてあげる。」と言われ、課金したそうです。カードの決済日に、覚えのない明細金額4万円を見て、お母さんはビックリ。息子を問い正すと、ゲームで使ったことが判明。さらに、その支払った4万円の中には、友達のアイテム7千円分も含まれていたのです。お母さんは、友達の親に電話して7千円を返してほしいと伝えたところ、お宅の息子がくれると言うのでもらったのだから返金するいわれはないと。お金もさることながら、友達関係も保護者との関係もこじれて最悪になった、という話でした。★☆☆

このケース、何が問題でしょう。まず、お母さんは貸す前に『ルールの再確認』をすべきです。それができないなら、使用する場にお母さんがついていく。それでもできないなら、貸さない。この想像力こそ、トラブルやリスクを回避することになります。

「うちの子供は大丈夫」～トラブルにあった家庭、みんなそう言います。

「家庭のルール徹底」「ルールを守れないなら、持たせない」が、ネットで後悔しない秘訣です。



## CS (コミュニティ・スクール) 運営協議会委員について

本校のCS運営協議会委員は、次のように決定しましたので、お知らせします。

会長～松田信幸さん(つつじの会代表、タウン24町内会長)

副会長～櫻田昇さん(セーフティネットつつじ代表、ふれあい町内会長)

委員～赤間百合子さん(つつじっ子みまもり隊隊長)、河合昇男さん(つつじが丘幼稚園長)

佐々木直美さん(開校20周年協賛会長)、佐々木昌和さん(P T A会長)、

米谷邦子さん(あけぼの保育園長)、広瀬文彦さん(酪農教育ファーム)

野上泰宏(つつじが丘小学校長)

## 11月のつつじが丘小 行事予定



日	曜日	予 定	日	曜日	予 定
1	金	交通安全日 実践発表会	16	土	わくわくサタデー
2	土		17	日	市P連研究大会
3	日	文化の日	18	月	つつじっ子
4	月	振替休日	19	火	職員会議 給食費(高) 酪農授業4-2
5	火	児童会総会	20	水	給食費(中) 酪農授業4-1 つつじっ子
6	水	避難訓練 二中エリアサミット つつじっ子	21	木	給食費(低) ピザ作り3年
7	木	新入児検診 13:00～	22	金	給食費(予)
8	金	クラブ 書写ボラ4年	23	土	勤労感謝の日
9	土		24	日	市P連西ブロックミニバレー
10	日		25	月	参観日(高) つつじっ子
11	月	ALT 児童会 つつじっ子	26	火	参観日(中、す)
12	火	ALT 書写ボラ3年	27	水	参観日(低) 二中エリア講演会 18時半 つつじっ子
13	水	つつじっ子	28	木	薬物乱用防止教室6年
14	木	トレジャー懇談会 市造形展～20日	29	金	チャレンジ集会
15	金	交通安全日(+P社会部) 児童会 書写ボラ年6年	30	土	

